

笑顔輝き やさしさあふれる 桃二小 <教育目標>
 ◎ 考える子
 ○ 思いやりのある子
 ○ 元気な子

桃二
 - 学校便り -

<桃二小ホームページ> <http://nk-momo2-e.a.la9.jp/>

～開校99周年～
 令和2年6月1日(月)
 No.5(6月臨時号)
 中野区立桃園第二小学校
 校長 山崎 義弘

「新しい生活様式」を実践しながら教育活動を継続できるよう努めます。

新型コロナウイルス感染症に対する予防のためのワクチンや治療薬がない中、ウイルスと共存しながら、私たちの健康と生命を守っていかねばなりません。東京都が示しているように、感染症防止と経済社会活動の両立を図って「新しい日常」が定着した社会を実現することが、今後の教育活動の維持・継続に大切だと考えます。

桃園第二小学校では、文部科学省や東京都が示した学校再開のためのガイドライン等の様々な資料を踏まえるとともに、中野区教育委員会の指導・支援を受け、さらに、学校医・学校薬剤師の先生の指導・助言を受けて、学校再開に向けた「新しい生活様式」の構築に努めてまいりました。以下のような方針で学校生活上の衛生に留意し、教育活動を行ってまいります。子どもたちのために、今後も、中野区教育委員会と連携して、感染の防止に努めてまいります。毎朝の検温、マスクの着用など、保護者の皆様にご協力をいただくことがあります。お子様とまわりの子どもたちの健康を守るため、ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

1 新型コロナウイルス感染予防のために基本的な方針

- 毎朝、子どもたちが教室に入る前に体温を確認します。
- 「密をさけること」「距離をとること」「手洗い・マスク着用・咳エチケット」を徹底します。
 - 登校後、外から帰った後、特別教室での学習やボール等の共用の物を使った後、トイレの後と食事の前は、必ず手を洗うよう指導します。
 - マスクは常時着用するようにします。マスクをはずすのは、体育の授業中、給食の時間、水分補給をするときです。教員は、体育のときもマスクを着用します。
 - ソーシャルディスタンスを確保する行動を子どもたちに促します。分散登校期間は、教室の座席は、1m以上の間隔をとって配置します。分散登校が終了し、通常登校になった後も、できる限り間隔をとって配置します。
 - 窓は常時開けて換気をします。できる限り対角線で2方向の窓を開け気温が高い日も、「三密」の防止を優先し、エアコンを使用しながら換気を行います。
 - 行事等で全校の子どもたちが一堂に集まることはせず、放送やビデオ映像を活用して行います。
- 感染した人やその家族、感染のリスクが高い仕事に従事される方やその家族など、新型コロナウイルス感染症にかかわることで差別や偏見、いじめが絶対に起こらないよう、指導を徹底します。
- 子どもたちが触る机、ドア、手すり等について、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒を1日1回以上行います。

2 持ち物のご協力をお願い

- **【マスク】【タオルハンカチ】【検温カード】【水筒】【マスク入れ】を毎日持たせてください。**
 - マスク、タオルハンカチは、子どもたちが家を出る際に、必ずご確認ください。予備のマスク、タオルハンカチをランドセルに入れておいてください。

- 検温カードは、ランドセルのフックにかけて登校させてください。子どもたちの荷物が多い日も、雨の日も、すばやく確認できるようにしています。
- 水分補給は、水筒で行います。中身がなくなったら、水道から水筒に水を補給します。
- うがいも、水筒の水、または水筒のふた(カップ)を使って行うようにします。したがって、できる範囲で構いませんので、ふたがカップになるタイプの水筒をご用意いただけるとよいと考えます。すぐには無理でも、新しいものを購入される際は、このことを念頭においていただけますようお願いいたします。

3 健康観察のお願い

- 毎朝、検温して、検温カードに記入してください。
- 体温が、平熱より1℃高い場合や、37℃以上ある場合は、登校を見合わせてください。
 - 子どもたちの中には、具合が悪くなくても、運動の後等に37℃になる子もいます。しかし、新型コロナウイルス感染症の心配がある中では、お子様の体温が上がった場合に、他の子どもたちへの影響が非常に大きいため、37℃を基準とさせていただきます。
 - 学校で検温が必要になったお子様が37℃以上あった場合は、保健室で様子を見ます。しばらくたっても、37℃より下がらない場合は、保護者の方にお迎えをお願いするご連絡をいたします。

4 子どもたちの生活の1日の流れ

(1) 朝・自宅にて

- ① 自宅で検温し、検温カードに記入します。
- ② 検温カード(A6サイズ)をランドセルフックにかけて登校します。



6月1日の登校時



6月2日からはビニールケースに入れます。



(2) 登校～校舎入舎～教室入室

- ① 話をするのを控えて歩きます。交通安全に気をつけ、建物側、学校側を歩くことを守って登校します。
- ② 校庭に学級ごとに整列します。両手を広げた距離をとって並びます。
- ③ 検温カードを担当の教員に見せます。
- ④ 確認を終えた子どもは、昇降口の密集を避けるため、各クラス5人以上が昇降口に向かわないようにしながら、校舎に入ります。
- ⑤ 検温を忘れてきた子どもは、校舎外の別の場所で検温を行います。
- ⑥ 教室前の手洗い場で手を洗ってから教室に入ります。



裏面に続きます。

(3) 授業

- ① 子どもたちは、できる限り前方（一方向）を向いて学習します。
- ② 教員は、個別指導のために机間を回り、子どもたちに近づいて声をかける場合には、中野区から支給されたフェイスシールドを着用します。
- ③ グループ学習や作業学習を想定した机がある図画工作室、理科室、家庭科室では、向かい合う子どもたちの前にビニールシートを貼って、学習を進められるようにします。このビニールシートをしている間は、火を用いる実験等を行いません。

(4) 中休み・昼休み

- ④ すべての窓を全開にします。
- ⑤ 子どもたちは、校庭・体育館・図書室に分散して過ごせるようにします。
- ⑥ 雨の日は、校庭割り当て学年は教室で過ごします。
- ⑦ 外遊び終了後、教室に入る前に全員手を洗います。

<水道の使い方>

- 緑色のゴムマットの境目に次の人が並びます。足形マークがついています。
- 蛇口から直接飲むことはしません。
- 水分補給は水筒で行います。中身がなくなったら、水筒に補給します。
- 水筒を忘れた子どもには、紙コップを用意します。
- 水道の後ろの窓は常に換気をします。
- 中休み、昼休み、掃除の後、給食準備中に手洗いを促す音楽を流します。
- 手洗い用の石けんは、泡ポンプタイプのみを配置します。



<その他の箇所>

- トイレの中で待つのは2人までにします。それ以外の人は廊下で待ります。トレイの中と廊下に待つ位置を示したマークを付けています。
- 4～6年生の女子が使用する更衣室では、距離をとって、静かにすばやく（2分程度）着替えるように指導します。



(5) 中休み後

- ① 3校時が始まったら、用務主事が、教室ドア・蛇口・階段の手すり・トイレ（ドア・便座・ふた等）・通用門のドアノブ・西校舎ドアを次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。

(6) 給食

- ① 給食前の授業が終了後、子どもたちは、着席して待ちます。
- ② 担任教員から班ごとの指示を受け、手洗いの後、ランチマットをしき、配膳を受けます。
- ③ 飛沫感染防止のため、マスクを着けたまま、黙って配膳を受けます。
- ④ 食べ始める直前までマスクを着けたまま待ちます。
- ⑤ 「いただきます」をして、マスクを外して「マスク入れ」に入れ、食べます。
- ⑥ 向かい合わず、前向きで、会話をせずに食べます。
- ⑦ 一度個人によそった食事は食管へ戻さないようにします。
- ⑧ おかわりがある場合は、教職員がよそうようにします。
- ⑨ アレルギー食は、栄養士が直接該当の子どもに渡します。
- ⑩ 6月28日までは、牛乳パックは廃棄します。各自がストローとパックを分離し、パックをつぶすところまで行って、廃棄する袋に入れるようにします。

<配膳>

- 6月の第2週（給食開始最初の週）は、配膳が必要のない容器で提供します。
- 6月の第3週（給食開始第2週）は、教職員が配膳します。
- 接触者が限られるように、各学級の検温担当者と重なるように教職員を配置します。
- 配膳する教職員は、手洗いをし、エプロン・三角巾・マスク・手袋を付けます。
- 6月の第4週以降の配膳の仕方については、感染症の状況を踏まえて検討します。
- 配膳台は、給食前に調理員が次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。

(6) 清掃

- ① 6月分散登校期間（第1～2週）は、子どもたちによる清掃は行いません。
- ② 6月の第3週（通常登校開始予定の週）以降のことについては、感染症の状況を踏まえて検討します。

(7) 子どもたちの下校後

- ① 窓を全開にします。
- ② 15時20分からの10分間を消毒タイムとし、すべての教室を、次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。
- ③ 教員が、教室において、子どもたちの机、ドア、ロッカーの上等を、次亜塩素酸ナトリウムを付けた布で拭き、水拭きします。
- ④ 用務主事等が、階段手すり、蛇口、トイレ通用門のドアノブ、西校舎ドア、特別教室の共用部分を、次亜塩素酸ナトリウムを付けた布で拭き、水拭きします。
- ⑤ 点検表を作成し、チェックしながら行います。

「新しい生活様式」については、学校としても試行錯誤の状態です。不備があるかもしれません。ご指摘があれば、謙虚に受け止め、改善・変更を努めてまいります。また、今後、感染の状況の変化や、国・都の動向を踏まえ、必要に応じて修正してまいります。

保護者の皆様とともに協力して、子どもたちの健康と安全を守っていきたく考えています。どうぞよろしくお願いいたします。